

第22回次世代を担う若手のためのファーマ・バイオフィォーラム 2023 プログラム 1 日目

9 月 8 日(金) A 会場(第 1 講義室)

13:20~15:00 session A1	座長:有竹 浩介(第一薬科大)、武田 弘資(長崎大) アドバイザー:紺谷 圈二(明治薬科大)、津田 誠(九州大)、 服部 光治(名古屋市立大)、原 雄二(静岡県立大)、福山 征光(東京大)
13:20 1A1	体内時計システムの破綻は水代謝異常を誘発する 北浦 慧 D2 日本大・健康衛生学
13:40 1A2	新規細胞膜上プロゲステロン受容体 mPR δ の機能解析 山野 真由 M2 京都大・代謝ゲノム薬学
14:00 1A3	NBR1 による細胞死誘導性 p62 液滴の新規制御機構解明 鈴木 若奈 M2 東北大・衛生化学
14:20 1A4	KSHV ORF7・ORF29・ORF67.5 はターミナーゼ複合体として機能する 祝迫 佑紀 D3 京都薬科大・細胞生物学
14:40 1A5	SARS-CoV-2 スパイクタンパク質を標的とする二重特異性中和抗体の創出 井上 徹哉 M2 東京理科大・感染分子標的学

休憩(15:00~15:20)

15:20~17:20 session A2	座長:中山浩伸(鈴鹿医療科学大)、松沢 厚(東北大) アドバイザー:梅本 英司(静岡県立大)、可野 邦行(東京大)、 藤森 功(大阪医科薬科大)、Jose M.M. Caaveiro(九州大)、松永 司(金沢大)
15:20 1A6	リソソームの脂質過酸化反応がフェロトーシス誘導の引き金になる 齋元 祐真 D2 九州大・分子病態解析学
15:40 1A7	Characterization of aging phenotypes in African turquoise killifish Chen Junjie M2 東京医科歯科大・発生再生生物学
16:00 1A8	リン脂質フリッパーゼ ATP8A1 と ATP8A2 の神経細胞での局在と機能 川瀬 宗之 M2 名市大・病態生化学
16:20 1A9	マクロファージの死細胞貪食能を促進する求電子性脂質修飾の同定 Kaiyuan Deng D2 慶應義塾大・代謝生理化学
16:40 1A10	筋間葉系前駆細胞における YAP/TAZ の役割 岩森 歌奈子 B4 大阪大・再生適応学
17:00 1A11	収縮保持性心不全モデルマウスの遺伝子発現解析 村上 里穂 B6 熊本大・分子血管制御

世話人拡大会議 17:30~18:15 (コラボ1 視聴覚ホール)

プログラム 2 日目
9 月 9 日(土) A 会場(第 1 講義室)

9:00~10:20 session A3	座長:長田 茂宏(和歌山県立医大)、服部 光治(名古屋市立大) アドバイザー:井上 飛鳥(東北大)、木村 郁夫(京都大)、 小藤 智史(東京医科歯科大)、前川 大志(慶應義塾大)、南 敬(熊本大)
9:00 1A12	大腸菌 dNTP 合成酵素 NrdAB の細胞周期依存的な発現制御機構の解析 陣内 貴史 B6 九州大・分子生物薬学
9:20 1A13	リゾホスファチジン酸受容体 LPA ₃ シグナルは肺線維症および急性増悪化を抑制する 高木 博那 B6 東京大・衛生化学
9:40 1A14	中枢神経系における細胞膜上プロゲステロン受容体の機能解析 中平 奈穂 B5 京都大・代謝ゲノム薬学
10:00 1A15	高血糖時の肝脂肪滴蓄積における Drp1-filamin 複合体形成の関与 有吉 航平 M1 九州大・生理学

休憩(10:20~10:40)

10:40~12:00 session A4	座長:紺谷 圏二(明治薬科大)、杉本 幸彦(熊本大) アドバイザー:榛葉 繁紀(日本大)、鈴木 亮(金沢大)、 告 恭史郎(山口東京理科大)、深澤 征義(感染研)、Jose M.M. Gaaveiro(九州大)
10:40 1A16	化学遺伝学的手法を用いた脂肪肝における G12 共役型 GPCR の機能解析 荒井 魁斗 M2 東北大・分子細胞生化学
11:00 1A17	マイクロウェルイメージングによる二次性の急性骨髄性白血病細胞の細胞特性解析 新倉 竜太 M2 東京大・生理化学
11:20 1A18	LPLAT7 欠損による網膜変性機構の解析 許 国こう M1 東京大・衛生化学
11:40 1A19	Supersulfide-based bulking of dynamin-related protein 1 prevents ischemic sulfide catabolism and heart failure in mice 湯 肖康 M2 総研大・生理

昼休み(12:00~13:20)

生物系薬学部会の先生方のみ: 世話人会 12:20~13:10
(コラボステーション1 2階 視聴覚ホール)

13:20~15:00 session A5	座長: 藤森 功(大阪医科薬科大)、仁科 博史(東京医科歯科大) アドバイザー: 磯部 洋輔(理研)、坂本 多穂(静岡県立大)、 中山 和久(京都大)、松原 守(岐阜医療科学大)、谷中 冴子(九州大)
13:20 1A20	グリオブラストーマの悪性化におけるセレノプロテイン発現制御系の関与 鄭 希 D3 東北大・代謝制御薬学
13:40 1A21	好氣的解糖下で triosephosphate isomerase 1 は HIV-1 複製効率の 上昇に寄与する 阿部 人和 D1 熊本大・環境分子保健学
14:00 1A22	GPCR に対する結合様式によって β アレスチンは機能を区別する 桑原 莉来 M2 東北大・分子細胞生化学
14:20 1A23	抗腫瘍免疫における GPR55 シグナルの機能解析 伊藤 晃 M1 東京大・衛生化学
14:40 1A24	腎臓初期発生におけるプロスタグランジン I_2 受容体 IP の機能解析 渡邊 尚幸 D1 熊本大・薬学生化学

休憩(15:00~15:20)

15:20~17:00 session A6	座長: 國澤 純(医薬基盤研・大阪大)、原 雄二(静岡県立大) アドバイザー: 荒木 信(明治薬科大)、小藤 智史(東京医科歯科大)、 杉本 幸彦(熊本大)、武田 弘資(長崎大)、谷中 冴子(九州大)
15:20 1A25	MRGPRX2 マウスオルソログの探索 劉 康 D3 京都薬科大・薬理学
15:40 1A26	ASK1 は細胞老化および加齢に伴う炎症を促進する 小田原 傑 D3 東京大・細胞情報学
16:00 1A27	脊髄後角アストロサイト—神経相互作用による新規痛覚制御メカニズム 川邊 陸 D2 九州大・薬理学
16:20 1A28	Hippo シグナル制御遺伝子による細胞間相互作用制御メカニズム 萩原 環 M2 東京大・生理化学
16:40 1A29	宿主細胞に供給される栄養因子の違いは 新たに産生される SARS-CoV-2 の感染価を変化させる 佐々木 駿介 M2 熊本大・環境分子保健学

休憩(17:00~17:20)

17:20~19:00 session A7	座長:有田 誠(慶應義塾大)、松永 司(金沢大) アドバイザー:厚味 巖一(帝京大)、長田 茂宏(和歌山県立医科大)、 岸本 直樹(熊本大)、櫻井 宏明(富山大)、津田 誠(九州大)
17:20 1A30	薬剤誘導性肺線維症の急性増悪機構の解析 林 薫子 D1 大阪医科薬科大・病態生化学
17:40 1A31	ω 6系カンナビノイドの司る中枢機能に対する ω 3脂肪酸の影響 小牧 草太 D1 熊本大・薬学生化学
18:00 1A32	細胞膜上プロゲステロン受容体 mPR γ の機能解析 西川 翔太 M1 京都大・代謝ゲノム薬学
18:20 1A33	リン脂質 <i>sn</i> -1位脂肪酸導入酵素としての LPLAT10/LPEAT2の機能解析 片岡 陸汰 M1 東京大・衛生化学
18:40 1A34	翻訳抑制因子 Paip2による新規翻訳抑制のメカニズム 小森 太貴 M2 名市大・遺伝情報学

意見交換会(19:00~20:00、審査結果発表)

プログラム 1 日目
9 月 8 日(金) B 会場 (第2講義室)

13:20~15:00 session B1	座長: 田中 智之(京都薬科大)、松原 守(岐阜医療科学大) アドバイザー: 小柳 悟(九州大)、坂本 多穂(静岡県立大)、 瀬木(西田) 恵里(東京理科大)、坪井 一人(川崎医科大)、 仁科 博史(東京医科歯科大)		
13:20 1B1	織毛 GPCR の織毛外排出における β -アレステインの役割の解明 村井 理人	M2	京都大・生体情報制御学
13:40 1B2	慢性心不全時における TRPC6 活性化の治療有効性 古本 裕香	M2	九州大・生理学
14:00 1B3	H-PGDS 阻害剤によるセルレイン誘発性急性膵炎の炎症制御機構の解析 細見 健太	D1	大阪医科薬科大・病態生化学
14:20 1B4	ダウン症モデルマウスにおける脳血管内皮のプロテオミクス解析および 病態制御因子の同定 大草 紗佳	M2	熊本大・分子血管制御
14:40 1B5	ノロウイルス変異株に対する抗体の作成と特性評価 田川 純平	M1	九州大・グローバルヘルスケア

休憩(15:00~15:20)

15:20~17:20 session B2	座長: 櫻井 宏明(富山大)、深田 宗一郎(大阪大) アドバイザー: 一條 秀憲(東京大)、加生 和寿(九州大)、金子 尚志(東北大)、 嶋本 顕(山口東京理科大)、前川 大志(慶應義塾大)		
15:20 1B6	LARP4 は標的 mRNA のポリ A 鎖を転写後に伸長し翻訳を活性化する 小川 慧真	M1	名市大・遺伝情報学
15:40 1B7	敗血症による心臓電気活動の異常に対する I_{Ks} チャネルの役割 服部 希海	M1	静岡県立大・生体情報分子解析
16:00 1B8	神経障害性アロディニアの発症に関与する脊髄後角興奮性神経 井 絵理子	M1	九州大・薬理学
16:20 1B9	重症熱性血小板減少症候群ウイルス感染を阻害する新規化合物の探索 入江 拓也	M2	東京理科大・感染分子標的学
16:40 1B10	機械受容イオンチャネル PIEZO1 阻害化合物 SC-560 の薬理的解析 松下 僚成	B6	静岡県立大・統合生理学
17:00 1B11	レドックス制御によるトランスサイレチン凝集体形成の分子機構解析 山下 拓真	B6	熊本大・生命分析化学

世話人拡大会議 17:30~18:15 (コラボ1 視聴覚ホール)

プログラム 2 日目
9 月 9 日(土) B 会場 (第2講義室)

9:00~10:20 session B3	座長: 厚味 徹一(帝京大)、瀬木(西田) 恵里(東京理科大) アドバイザー: 坪井 一人(川崎医科大)、藤田 雅俊(九州大)、 松沢 厚(東北大)、松原 守(岐阜医療科学大)、森岡 弘志(熊本大)
9:00 1B12	HIV-1 CA コアの安定化調節におけるリン酸化 Thr ¹⁸⁶ の意義の解明 平野 圭恵 M1 熊本大・環境分子保健学
9:20 1B13	フェロトーシスにおける脂質酸化プロセスと CYP7A1 の役割 秋場 湧太 B6 東北大・代謝制御薬学
9:40 1B14	不完全な細胞老化がもたらす細胞分裂異常 坂爪 菜月 B6 東京大・生理化学
10:00 1B15	複製ヘリカーゼ DnaB の細胞内ダイナミクス解析 内海 佑介 B6 九州大・分子生物薬学

休憩(10:20~10:40)

10:40~12:00 session B4	座長: 青木 淳賢(東京大)、中山 和久(京大) アドバイザー: 國澤 純(医薬基盤研・大阪大)、小池 敦資(大阪医科薬科大)、 谷村 進(長崎大)、野口 耕司(東京理科大)、三隅 将吾(熊本大)
10:40 1B16	長鎖アシル CoA 合成酵素 4 の欠損は化学物質誘発性肺傷害を抑制する 冨塚 祐希 D4 昭和大・衛生薬学
11:00 1B17	RNA 編集酵素 ADAR2 による「環状 RNA-microRNA 経路」を介した 乳がん細胞の抗がん剤耐性獲得メカニズムの解析 小俣 裕司 D3 九州大・薬剤学
11:20 1B18	時計遺伝子 Bmal1 による脂肪組織インスリン感受性調節機構の解明 石井 宏剛 D3 日本大・健康衛生学
11:40 1B19	BioID 法を利用したヌクレオチド除去修復機構解析技術の開発 松谷 知則 M2 金沢大・遺伝情報制御学

昼休み(12:00~13:20)

生物系薬学部会の先生方のみ: 世話人会 12:20~13:10
(コラボレーション1 2階 視聴覚ホール)

13:20~15:00 session B5	座長: 嶋本 顕(山口東京理科大)、南 敬(熊本大) アドバイザー: 加藤 百合(九州大)、田中 智之(京都薬科大)、 鶴田 朗人(九州大)、中山浩伸(鈴鹿医療科学大)、深田 宗一郎(大阪大)
13:20 1B20	線虫をもちいた生殖寿命に寄与する新規因子の探索と解析 王 思瀛 M2 東京大・生理化学
13:40 1B21	リン脂質フリッパーゼ ATP8A1/ATP8A2 二重欠損マウスにおける 神経変性発症の分子機構と、その治療法開発に関する研究 徳永 柊 M1 名市大・病態生化学
14:00 1B22	ヒンジ領域の改変が IgG1 の構造と機能に及ぼす影響の解明 小関 悠希 M1 九州大・グローバルヘルスケア
14:20 1B23	LPS と IL-4 の共刺激により誘導されるマクロファージの機能解析 石田 溪 D2 大阪大・ワクチン材料学
14:40 1B24	パイエル板貪食細胞における GPR31 シグナルを介した 病原性細菌の取り込みと免疫応答の解析 網代 貴之 M1 静岡県立大・免疫微生物学

休憩(15:00~15:20)

15:20~17:00 session B6	深澤 征義(感染研)、森岡 弘志(熊本大) アドバイザー: 赤堀 稜(金沢大)、有竹 浩介(第一薬科大)、 可野 邦行(東京大)、中辻 匡俊(大阪医科薬科大)、藤田 雅俊(九州大)
15:20 1B25	精細胞分化過程における長鎖アシル CoA 合成酵素 Acsl6 の機能的役割 太田 龍志 D2 慶應義塾大・代謝生理化学
15:40 1B26	シスチントランスポーターSLC7A11 による 酸化ストレス誘導性パータナトス促進機構の解明 伊東 諒 M1 東北大・衛生化学
16:00 1B27	肝細胞のがん化に伴うシステイン代謝変容機構と病態学的意義の解析 山内 智暁 D3 九州大・薬剤学
16:20 1B28	リン脂質フリップ・フロップによる TRPM8 イオンチャネルの活性制御 中西 陸 M2 静岡県立大・統合生理学
16:40 1B29	複数の DNA 二重鎖切断修復経路の比較解析による 高精度な CRISPR ノックイン手法の開発 鄭 千遥 M2 東京大・生理化学

休憩(17:00~17:20)

17:20~19:00 session B7	座長:井上 飛鳥(東北大)、木村 郁夫(京都大) アドバイザー:梅本 英司(静岡県立大)、小柳 悟(九州大)、 佐藤 卓史(熊本大)、原 俊太郎(昭和大)、福山 征光(東京大)
17:20 1B30	HIV に対する部位特異的 化学修飾抗体の相互作用メカニズムの解明 吉永 晴哉 M2 九州大・グローバルヘルスケア
17:40 1B31	p38 による Src 活性化を介した TAB1 チロシンリン酸化の増強 大沼 逸美 D1 富山大・がん細胞生物学
18:00 1B32	ミトコンドリア局在プロテインホスファターゼ PGAM5 による マイトファジー過程での微小管の制御 井上 昂海 M2 長崎大・細胞制御学
18:20 1B33	GPR35 によるマスト細胞脱顆粒応答抑制機序の解析 岡 真純 D4 京都薬科大・薬理学
18:40 1B34	神経細胞膜のスフィンゴリエリン量に与える分泌タンパク質リーリンの影響の解明 竹腰 祐斗 D1 名市大・病態生化学

意見交換会(19:00~20:00、審査結果発表)